



学校だより

冬休み号

年の瀬も押し迫り、今年も残すところ一週間ほどになりました。4月からの9ヶ月をふりかえると、子ども達は、勉強、行事、遊びなどを通して、心も体も大きく成長したように思います。

26日からは、「冬休み」が始まります。家族の一員として、家事を分担しお手伝いをしたり、書き初めをしたり、地域の伝統的な行事に参加したりするなど、冬休みにしか経験できない貴重な体験をし、充実した冬休みを過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様や地域の皆様には、これまでいろいろなご支援やご協力をいただき、心より感謝とお礼を申し上げます。併せて、子ども達の登下校におきましても、安心・安全パトロール等のお世話になりましたことに重ねてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。皆様にとって来年も希望に満ちたすばらしい年になることを、そして事故やけがもなく、この冬休みを健康・安全に過ごしていただきますことをお祈り申し上げます。



150周年記念式典を振り返って

校長 井表 照雄

11月29日（金）に、本校150周年記念式典を開催することができました。当日は野口教育長始め歴代校長先生、たくさんの地域の方々や育友会のOBの方々など70人ほどの来賓の方々をお迎えし、全校児童と一緒に150周年を祝うことができました。これも、学校、保護者、地域が一体となっていたおかげです。

6年生の児童発表では、総合的な学習「生きがいのある未来のために」で学んだことをもとに、将来の夢や座右の銘について発表しました。自分の未来に向けて考えた決意を堂々と発表する姿に大変感動し、頼もしく感じました。全校合唱「ふるさと」では、三馬っ子の心が一つになった素晴らしい歌声が体育館いっぱいに響き渡り、会場を魅了しました。式辞の中で、地域の美しい情景と元気で伸びゆく三馬っ子という校歌の願いを忘れずに、「ふるさと三馬」を愛し誇りを持って未来に向かう大人になってほしいと児童に伝えました。

「泉圭輔」選手から、環境や人のせいにするのではなく、何事にも素直に前向きに取り組んで、未来に向かって諦めないで努力する人になってというメッセージを頂きました。私も心からそう願っています。

これからも保護者の皆様、地域の皆様、そして学校が連携して子ども達の育成を図って参りたいと思います。これまで本当にご理解とご協力をありがとうございました。これからもどうぞよろしく願いいたします。



三馬小の卒業生である泉圭輔投手とのふれあいタイムでは、児童からの質問や全校での記念写真撮影、ハイタッチなどで大変盛り上がり、素敵な思い出になりました。

